

文化交流専攻（文化コース）

問題 I

1937 年 7 月以降のいわゆる「日中戦争」と 1941 年 12 月以降のいわゆる「太平洋戦争」の期間には、多くの文学者たちが、戦争を進める国家体制への協力を余儀なくされました。もちろん、関与の度合いの濃淡は各自で異なっていました。

ここでひとつの問いが生じます。「積極的に協力した（と言える）者」と、「消極的に協力した（と言える）者」とを、後世の人間が弁別できるのかという問題です。この問題は、戦争への関与の程度をはかるために、どのような基準を設定するのが合理的なのかという問題と読み替えることもできるでしょう。

以上を踏まえたうえで、「積極的に協力した（と言える）者」と、「消極的に協力した（と言える）者」とを、それぞれ一人ずつ選定して、そう言える根拠を挙げながら、各自の 1945 年 8 月までの活動を整理してください（戦後についての記述は不要）。その際、必ず具体的な作品を挙げるとともに、その作家の当時の言論についても言及してください。また、可能な限り、年代や歴史的現象についても言及してください。